

代表者プロフィール

代表取締役**CEO**

村上拓朗(むらかみ たくろう)



経歴

2018年4月:名古屋大学工学部機械航空・宇宙工学科に入学。トライボロジー分野の潤滑剤シミュレーション研究に取り組み、オープンソースソフトウェア「LAMMPS」の拡張をC++で行う。

2020年3月:コロナ禍で学習機会を失った中高生と大学生をつなぐ教育プラットフォームの立ち上げに参画(NUAse副代表)。初回授業には中高生200名が参加。

2021年7月:ライフイズテック株式会社でメンターを務め、中高生向けのプログラミング・ゲーム開発教育に携わる。

2022年7月:大学在学中に株式会社ARKLET(現・株式会社FriSti)の創業に参画。同年8月には株式会社ナックより資金調達を実施。

2024年7月:JETRO主催「J-StarX U25起業家プログラム」に採択され、UC Berkeleyでの3週間のアントレプレナーシップ研修を修了。

2025年1月:認定NPO法人ETIC.が運営する次世代イノベーター育成プログラム「MAKERS UNIVERSITY」10期生に採択。同プログラムは2016年開講、1期から10期までの卒業生は500名にのぼる。

2025年2月:社名を株式会社FriStiに変更。

現在はSTATION Aiを拠点に、生成AI・AIエージェントの活用を軸としたAI導入コンサルティングおよび研修事業を展開する。STATION Ai内の東海エリア最大級のAIコミュニティ「生成AIギルド」のオーナーを務め、発足から1年以内に参加者100名近くまで拡大。

直近ではClaude Code勉強会を継続的に開催。2026年5月9日に開催した第2回は現地参加40名、満足度95.5%を記録した。勉強会では外部ツール連携(MCP)やエージェントの並列処理といった実装面まで扱う。

生成AI研修・Claude Code勉強会の提供実績は、2026年7月時点で累計23社・受講者累計200名以上、研修満足度90%にのぼる。

2026年3月:ロボティクス×AI領域を手がける株式会社フィジカルAI総合研究所を設立し、代表取締役を兼任。同社はVLA(Vision-Language-Action)モデルとロボティクスの統合により、製造業の人手不足・生産性課題の解決を目指す。

想い

「AIは一部の人だけが使う難しい技術ではなく、誰もが使いこなせる当たり前の道具にしたい」愛知・名古屋で生まれ育ち、現在も名古屋市を拠点に事業を営んでいる。幼少期からテクノロジーによって自らの可能性が広がる経験を重ねてきたことから、「人生の可能性を広げ、豊かな明日をつくる」をミッションに掲げる。決められた作業に追われていた人がAIによって時間の余白を生み出し、よりクリエイティブな仕事へ移っていく——そうした状態を、技術者でない人にも届けたいと考えている。

同時に、この地域への貢献を事業の軸に据えている。東京の企業がオンラインで提供する研修ではなく、同じ東海エリアで事業を営む一社として、地元企業の課題に対面で向き合うことを重視する。STATION Aiで「生成AIギルド」を立ち上げたのも、この地域にAI活用の知見が集まり循環する場をつくるためである。東海エリアのAI活用レベルを全国トップクラスに引き上げ、地域の産業競争力に貢献することをビジョンとして掲げている。

話せる内容

- ・学生時代からの連続起業(教育プラットフォーム→ARKLET / FriSti→フィジカルAI総合研究所)の実体験
- ・中小企業における生成AI・AIエージェント活用の実態と課題
- ・非エンジニア組織へのAI定着、セキュリティ・ガードレール設計
- ・STATION Ai「生成AIギルド」運営から見る、地域産業とAIコミュニティの育て方
- ・ロボティクス×AI(フィジカルAI)がもたらす製造業の変化
- ・東海エリアの中小企業がAI活用で全国トップクラスを目指す意義

登壇実績

- ・NAGOYA AI YOUTH CAMP 特別講演(2025年7月13日・14日)

名古屋市主催の次世代人材育成プログラム「NAGOYA AI YOUTH CAMP: AIとプログラミングで創る未来」の第1弾イベント「AIプログラミング体験」に、生成AI活用起業家として登壇。名古屋市内在住・在学の中高生を対象に、AIスタートアップの現場での実体験をもとに、AIを通じて広がる未来の可能性と起業の魅力について講演した。AIを活用して起業した2名の起業家による講演枠として実施。会場はなごのキャンパス(名古屋市西区)。

- ・TechGALA Japan 2026 登壇(2026年1月28日)

セッション「綺麗事なし。東海AI連合が描く、世界市場を獲りに行く実戦戦略」に、株式会社FriSti代表として登壇。伊藤雅康氏(Studio Veco代表)、田中悠介氏(Givin' Back株式会社取締役)と共に、フィジカルAIおよび東海地域の製造業における現場データの重要性について議論した。TechGALA Japanは中部圏スタートアップ・エコシステムコンソーシアム主催のグローバルイベント。

- ・Think IT「Gen AI Times」掲載(2026年6月4日)

IT専門メディア「Think IT」の連載「Gen AI Times」第73回にて、STATION Ai内のAIコミュニティ「生成AIギルド」のオーナーとして紹介。「若きリーダーの一角」として、「ビジネスプランを語るだけでなく『技術実装の最前線』に立ち、周囲の若者や大人たちをも巻き込んでコミュニティを引っ張っている」と評された。